

2018.7.23

## Wantedly プロフィールの「紹介文」を埋めているユーザーは 4倍スカウトされやすいことが判明

「このさきやってみたいこと」が埋まっているユーザーは2倍スカウトされやすいという結果に

ビジネス SNS 「Wantedly」を運営するウォンテッドリーは、会社訪問サービス「Wantedly Visit」のスカウト機能において、ユーザーがスカウトされやすいプロフィールの条件について調査を行いました。

### 【調査結果】

- プロフィールの「紹介文」を埋めているユーザーは、埋めていないユーザーと比べて**4倍**スカウトされやすい。
- プロフィールの「このさきやってみたいこと」が埋まっているユーザーは、埋めていないユーザーと比べて**2倍**スカウトされやすい。

## 今回の調査について

人材不足が叫ばれる中で、企業が採用したい人材へ直接アプローチするダイレクトソーシングが浸透してきており、中でも企業が求職者のプロフィールを見てスカウトを送る「逆求人採用」を行う企業が増えています。HR 総研によると、ダイレクトソーシングを活用している企業は23%と前年比で8ポイント上昇しており、手法として「逆求人型サイト」を活用している企業が55%と最も多い結果となっています。※1

会社訪問サービス「Wantedly Visit」でも、企業からユーザーにアプローチすることができるスカウト機能をオプションで設けており、スカウト機能を利用する企業の数が前年と比べて2倍に増加しています。今回、ユーザーがスカウトされやすいプロフィールの条件について調査を行った結果、プロフィールの「紹介文」が埋まっているユーザーとそうでないユーザーで4倍、「このさきやってみたいこと」が埋まっているユーザーとそうでないユーザーで2倍の差がありました。※2

「Wantedly Visit」は、共感で会社とビジネスパーソンをマッチングすることを目的としたサービスです。企業のスカウト機能に対する需要が高まっている中で、「Wantedly」のプロフィールを充実させることがユーザーのセルフブランディングにつながっています。特に、プロフィールの「紹介文」や「このさきやってみたいこと」は、ユーザーがこれまでどのような経験をし、どのような思考性なのかが見える項目です。今回の調査を受け、企業の採用担当者はスカウトを送る際に、自社とのカルチャーマッチ度を図りやすい項目に注目していることがわかりました。

※1 HR 総研「2019年新卒採用動向調査」[https://www.hrpro.co.jp/research\\_detail.php?r\\_no=203](https://www.hrpro.co.jp/research_detail.php?r_no=203)

※2 2018年5月末時点でのデータをもとに比較

## ウォンテッドリーについて

ウォンテッドリーは、『シゴトでココロオドル人をふやす』ために、はたらくすべての人が共感を通じて「であい」「つながり」「つながりを深める」ためのビジネス SNS 「Wantedly」を提供しています。2012年2月のサービス公式リリースから現在まで、登録会社数25,000社、月間ユーザー数200万人を突破し、国境を越えて『はたらくすべての人のインフラ』を創っていきます。

### <会社概要>

会社名 : ウォンテッドリー株式会社

URL : <https://www.wantedly.com>

本社所在地： 東京都港区白金台 5-12-7 MG 白金台ビル 4F  
代表取締役： 仲 暁子  
設立： 2010年9月  
事業概要： 月間200万人が利用するビジネスSNS「Wantedly」  
会社訪問サービス「Wantedly Visit」  
はたらくを面白くするブログ「Wantedly Feed」  
名刺管理アプリ「Wantedly People」  
ビジネスチャット「Wantedly Chat」  
社内ツールの口コミサイト「Wantedly Tools」  
ポータルフォリオサイト「Wantedly Case」